

高知県立 高知城歴史博物館

Kochi Castle Museum of History

OHAKU NEWS

Volume
11



企画展はじまる。

総合展示室1
第4期 大名家の年賀状

総合展示室2
第4期 末広がりでおめでたく

お正月イベント
博物館に初もうで

知られざる城博コレクション

たのし
たのし
たのし

ご来館の皆さまへ

当館は新型コロナウイルス感染対策を講じた上で開館しております。ご来館の皆さまには、マスクの着用、手指の消毒をお願いしております。また展示室をご利用いただく際には、検温およびご連絡先の記入へのご協力をお願いしております。
(万が一館内で新型コロナウイルスの感染が発生した場合に保健所等の公的機関に利用者情報を提供するため)

感染防止のため、ご理解とご協力を何卒お願いいたします。

展示室開室スケジュール

●令和2年度の年間展示スケジュールおよび講座・催し物スケジュールは、当館のホームページにてご覧頂けます。
●企画展の開催は12月まで中止しています。

3F	12月	令和3年	1月	2月
総合展示室1 土佐藩の歴史	第3期 特集「偉人の横顔」 ～12月14日(月)	12月25日(金)	第4期 特集「大名家の年賀状」	2月23日(火・祝)
総合展示室2 大名道具と土佐の文化	第4期 特集コーナー「末広がりでおめでたく」	～1月18日(月)	第5期 特集コーナー「発見!つるかめ」	1月29日(金) 3月29日(月)
企画展 特別展示室	休室	1月1日(金・祝)	知られざる城博コレクション	3月8日(月)

EVENT 12~1月

各イベントは新型コロナウイルス感染予防に取り組みながら開催します。ご参加の際は、マスクの着用や消毒、ソーシャルディスタンス等の基本的な予防にご協力ください。今後の感染状況によっては、イベント内容の変更や中止となる場合があります。最新情報は当館のホームページをご覧ください。お問い合わせください。

博物館に初もうで 1.2 SAT・3 SUN

高知県立大学 新春初め
お正月の定番「春の海」などを演奏します。高知城の美しい景色と共に初春の調べをお楽しみください。
時間：各日11時30分～13時30分
会場：高知城3Fロビー

土佐の伝統「カツオ一本釣り」体験
土佐伝統の「カツオ一本釣り」体験用の道具をつかってみんなで一本釣りを体験してみよう。一本釣りの映像も上映します。
時間：各日10時～12時、13時～15時
会場：体験…当館2Fホール

新春 書初め体験コーナー
新年の抱負や好きな言葉などをしたためよう!どなたでもご参加できます。
時間：各日10時～12時、13時～15時
会場：当館1F学習室

高知へ帰省されるご家族も多いお正月。城博では、大名の年賀状やおめでたい美術工芸品や干支の丑にちなんだ品々などお正月らしい展示で皆さまをお迎えいたします。また、お夢の弾初めに土佐の伝統「カツオの一本釣り」体験などご家族でお楽しみいただける企画をご用意します。新年のはじまりは、お城下の博物館へおこしください!

門松 12.20 SUN
職人による博物館に設置する門松作りの様子を公開します。
時間：13時30分～14時
講師：西本達弘氏
会場：当館北ステージ

お正月の会 1.11 MON
博物館でお正月をお祝いする会です。邦楽の演奏をお楽しみください。
時間：10時～11時30分
演奏：菊由舞会と郡山流尺八の皆さん
定員：30名(要事前申込)
会場：土佐史学館

新春 学芸員レクチャー「大名家の年賀状」
展示中の諸藩の大名たちの年賀状について、学芸員が分かりやすく見どころをご紹介します。
時間：1/3のみ10時30分～13時
対象：小学生～高校生
会場：当館1F和室

開館時間 9:00～18:00 (日曜日は8:00～18:00)
※展示室への入室は開館の30分前まで

休館日 年末 [12月26日～12月31日]
※展示室の休室スケジュールはホームページをご覧ください

観覧料

- ◆500円(400円) ※()は団体20名以上の料金
- ◆企画展開催期間中……………700円(560円)
- ◆年間観覧券……………2,000円
- ◆高知城とのセット券(有効期限は当日限りです)
〈当館企画展開催期間中〉900円 〈その他の期間〉740円
- ◆高校生以下は無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者(1名)は無料。
※高知県・高知市長寿手帳所持者は無料。

無料期間 展示室1室のみ公開の期間は、観覧料無料 令和2年12月15日(火)～12月24日(木)

交通アクセス

- ◆お車をご利用のお客さま
高知自動車道高知ICから約15分。一般来館者の駐車場はございません。周辺の有料駐車場をご利用ください。※障害者用駐車場(2台)あり。
- ◆JRをご利用のお客さま
JR高知駅からとさでん交通路面電車(はりまや橋方面行き5分)はりまや橋下車、乗り換え(徳川橋または朝倉、または、いの方面行き5分)、高知城下車、徒歩3分。
- ◆飛行機をご利用のお客さま
高知龍馬空港からは高知市内と空港間を結ぶ連絡バスをご利用頂けます。JR高知駅行きは「はりまや橋」で、県庁行きは「県庁前」で下車してください。

高知県立 高知城歴史博物館

〒780-0842 高知県高知市追手筋2-7-5
TEL.088-871-1600
FAX.088-871-1619

友の会会員 情報会員 募集中!

発行日/令和2年(2020)12月1日 編集・発行/高知県立高知城歴史博物館

当館では一月から改めて企画展を再開します。その第一弾は当館のもう一つのコレクション-寄贈・寄託資料-をご紹介します。現在当館が、県内外の皆さんからお譲り頂いたり、お預かりしたりしている土佐藩・高知県関連資料の多彩な魅力をお伝えします。

令和3年
1.1
金・祝

3.8
月

古代塗の
アイデア帳

土佐の名産「古代塗」。篆書をあしらった古雅な作風を特徴としますが、これはその第一人者のお家から発見されたいわば「ねた帳」。今まで読めなかった字がこれで判るかも!と調査担当者を狂喜させた資料です。

城博知られざる 寄贈・寄託資料の世界

Unknown,
JOHAKU
Collection

企画展再開

大空武左衛門の手形



土佐藩士の子孫のお家に伝わった1枚の紙。代々の経歴書や辞令、日記などの間からひらりと現われました。当時、江戸で大評判となっていた大男の手形をとらせてもらったものです。余白には、その時の様子、同僚との体格差を目の当たりにした驚き、「牛俣」というあだ名の由来などを聞いて書き留めています。威厳あふれるはずの武士が、うっかり全開にした好奇心がほほえましい資料です。

逸品

山内家資料の古文書をはじめとする歴史資料や歴代藩主のお道具など、6万7千点の土佐藩・山内家資料の中から、学芸員がオスメの名品や隠れた逸品をご紹介します。

新政府軍の象徴「錦旗」

年代/慶応4年(1868年1月) 寸法(縦)×(横) 66



この「錦旗」(世に言う錦の御旗)は、戊辰戦争の際に朝廷より土佐藩に下賜されたもので、赤地に牡丹唐草模様、上部に金色の菊花紋を掲げています。新政府軍が「錦旗」を掲げたことで、日和見の態度をとっていた諸藩を一気に新政府側に引き寄せたことは有名です。さて、戦局を左右するこの大事な「錦旗」を、土佐藩は外国人に一時奪われてしまったという驚きのエピソードをご存知でしょうか?

慶応4年(1868)1月11日に「錦旗」を拝領した土佐藩は、大目付の本山只一郎等(全11名)に「錦旗」を守護して土佐に届けることを命じます(京都出発が同日)。

しかし、この道中で事件が発生。当時、神戸事件によって外国人に占拠されていた神戸で、「錦旗」を運んでいた2名が外国人兵に連行されてしまいました。ふたりは、貴重品をその場に置いてきたことを説明して現場に戻りますが、「錦旗」を入れていた箱を開けてみると、なんと!! 中身がなくなっていました(フランス兵が持ち去り)。ふたりが慌てふためいたことは想像に難くなく、切腹も覚悟したでしょうが、ほどなくアメリカ側の仲介でなんとか無事に戻ってきました。その後、一行は四国に渡り丸亀付近で迅衝隊(土佐藩兵)に「錦旗」を届けました(同日)。

(学芸課 学芸員 高木翔太)

※神戸事件とは、慶応4年1月11日に神戸において、備前藩兵が行列を横切ったフランス人水兵2名を斬りつけたため、駐留していたフランス・イギリス・アメリカと銃撃戦にまで発展した事件。備前藩が撤退した後は神戸が占拠され、明治政府初の外交問題となり、備前藩隊の責任者であった滝善三郎が切腹して一応の解決をみた。

総合展示に注目! 歴史と美術、2室の総合展示で山内家資料の魅力を満喫

総合展示室1 土佐藩の歴史

総合展示室1では、5万点以上ある山内家伝来の古文書・歴史資料により土佐の歴史を紹介。模型やタッチパネルで高知城などお城に関する知識も紹介。

第4期 大名家の年賀状

12.25(金)~令和3年2.23(火)

年の瀬の準備に欠かせない、年賀状。しかし江戸時代の人達にとって年賀状は、年が明けてから書くものでした。そして普段の手紙は「書状(書記官)任せの大名家も、この時ばかりは自ら筆を取ります。山内家資料にも、自筆の年賀状が数々伝わっています。今期の特集では、その中から数点を選んでご紹介します。達筆で個性のにじみ出た年賀状を見比べながら、展示室でよい新年をお迎えください。

丑年の人ゆかりの資料も展示

令和3年(2021)の干支は丑。丑年生まれの土佐藩主、6代山内豊隆・11代豊興ゆかりの資料や、土佐藩の正月行事にまつわる資料もご紹介します。



- 1. 導入展示室
- 2. 総合展示室1
- 3. 総合展示室2
- 4. 特別展示室 ※年内休室
- 5. 土佐史探索室
- A. 体験コーナー ※休室中
- B. 音声ガイド用タブレット ※貸出休止中 (お手持ちのスマートフォンで利用可能)

総合展示室2では、土佐藩山内家に伝わった甲冑や刀剣、能面などの大名道具を展示。また、土佐の学者や文人の著作・書画を通して近世土佐の文化を紹介。

第4期 末広がりでおめでたく

11.13(金)~令和3年1.18(月)

1000年以上の歴史を持つ扇。現代でも手軽に涼をとれる道具として親しみがある一方で、礼装の際や茶席・演能などで用いられることから、なにか神聖な、道具以上の存在であることも感じさせます。また要から先に向かって広がるその姿は「末広がり」と呼ばれ、繁栄を表す縁起物として、贈り物に用いられ、扇の形が文様化されて着物、食器など様々な日用品にあしらわれてもいます。そんな扇のさまざまなありようを、山内家伝来の資料を通してご紹介します。



しっぽつぐせん 日月回軍扇
武将が戦陣に携帯した扇を軍扇といいます。武将の地位を示し、戦を指揮する道具として用いられます。大ぶりで頭丈に作られています。



ひやこうぬすちゅうけい 御香箱団中啓
扇の骨がくの字型になっていて閉じた状態でも少し先が広がっているタイプの扇を「中啓」といいます。表に雲雀、裏に山水が描かれたこの中啓は、能で用いられるもの。

総合展示室2 大名道具と土佐の文化

調査・研究

寄贈・寄託資料の調査

わたしたち博物館の最も基本的な仕事は、さまざまな「モノ」を集め、そこから人々の営みや歴史をよみとくこと、未来へと伝え残していくことです。こうした「モノ」の集まりは「コレクション」と呼ばれます。城博のコレクションは、土佐藩山内家に伝わった6万7千点を核とし、総合展示ではそれらのエッセンスを年間を通してご紹介しています。当館のもう一つのコレクションが「寄贈・寄託資料」です。県内外の皆さんからお譲り頂いたり、お預かりしたりしている土佐藩・高知県関連の資料は約1万3千件のほりばです。初めてみたときには、途方に暮れるほどの大きな古い「モノ」のかたまりであったものが、調査をすすめるにつれ、厚さ10cmを超える大福帳、向こうが透けて見えるほどの薄い紙に写し取られた名画、日々の暮らしをつづった日記、災害の記録として一つ一つ意味をなし始め、私達に語りかけ始めます。次回企画展ではこれら寄贈・寄託資料の多彩な魅力をお伝えすると共に、わたしたちがどのようにしてこれらを読み解いてきたか、そしてそこから見えてきたものについてお伝えする予定です。

学芸課 学芸員 尾本師子

地域連携

新刊のお知らせ

地域の歴史を紹介する小冊子「地域記録集 土佐の村々」をご存じでしょうか。江戸時代、土佐藩には1,000を超える村々がありました。それらの多くは現在の「集落」や「地区」と重なります。これを単位として、住民や出身者が実感を持つことができる細やかな歴史の記録を目指し編集しているのが「地域記録集」です。これまで県内3集落分の冊子を刊行していますが、今年度新たに第4号を発刊することになりました。過疎化が進む高知県では、人口がゼロとなった地域、いわゆる「廃村」が増加しています。新刊では、廃村の危機に瀕する或る「村」の歴史と、そこで暮らした人々の今の声をお届けする予定です。地域のみなさんと一緒に調査・編集中です。発刊までもう少しお待ちください。

企画課 企画員(地域連携) 筒井聡史

※新刊の発行時期や対象地域などの詳細については、今後ホームページなどでお知らせします。※既刊は当館にて無料配布しています。またホームページからダウンロードもできます。



兜には飾りを付けられるように金具が用意されていることがあり、場所によって「前立」「脇立」「後立」と呼びます。やまびよんのかぶっている兎形耳兜にあるのは前立飾り。後立用の金具がないので、わか願いは叶いませんが、「丑」だけなら(やまびよんが許せば)可能です。

やまびよんは城博のキャラクター。兎形耳兜は4代土佐藩主・山内豊昌様にもらいました。わかと一緒に土佐の歴史や文化、山内家資料のことを勉強しています。